

繊維混用率測定用振とう機・マイクローム

=概要=

本機は、JIS L1030「繊維混用率試験方法」に規定されています振とう機並びにマイクロームです。繊維混用率とは、2種類以上の繊維で構成されている試料に対し、夫々の割合を求めるものでこの振とう機は、混用率測定「溶解法」にて使用致します。又、「溶解法」で測定が困難な試料に対しては、「顕微鏡法」を適用し、このマイクロームで切片試料を作成し、繊維の識別並びに直径を測定する事によって混用率を求めます。

=特長=

振とう機

1. JIS L1030にて規定されている高速往復運動振とう機で試料の溶解を短時間で確実に行う事ができる。
2. 従来の振とう機に比べ、試料溶解フラスコが4個取りけられ作業の効率化を実現。
3. 溶媒として劇薬を使用する為、薬品飛散防止・安全性を考慮しフラスコ収納ポットを採用。
4. 攪拌 → 休止 → 攪拌の工程時間は、夫々デジタル式タイマーで設定並びに表示し、全工程終了後は終了ブザーで知らせます。

マイクローム

1. JIS L1030「顕微鏡法」に規定されている簡易型マイクロームで繊維を0.4, 0.6, 0.8mmに切断できる。

=仕様=

振とう機

型	式	: IT-FMN
フラスコ掛数・容量		: 4個・300ml
振とう幅		: 60mm
フラスコ収納ポット		: 塩ビ製
往復運動回数		: 200回/分
振とう時間設定		: デジタル式設定/指示計 X 3組
攪拌工程		: 攪拌 → 休止 → 攪拌 (各工程 0:00~99分59秒設定可能)
電源		: 100V, 50Hz or 60Hz, 1φ (御希望により 220V仕様も製作)

マイクローム

型	式	: IT-MT
試料作成長		: 0.4mm, 0.6mm, 0.8mm
構成		: 繊維ホルダー、繊維固定金具、繊維プッシャー (3種類)、収納ケース



振とう機



マイクローム

*改良の為、仕様・概観は予告なく変更する場合があります。